

R 3 区意識調査 結果分析

4月に行った意識調査の結果についてお知らせします。

質問項目は65項目ありますので、抜粋した項目23項目を掲載いたします。数字は肯定的評価の割合を表しています。**斜体字は、区や全国の平均を下回っているものです**（概ね足立区の平均が全国を上回っているため、足立区が基準になっています）。

学校行事をほとんど体験せずに進級した2年生はこの調査をとった段階では、他の学年より達成感や帰属意識がやや下回っています。また、2年生は英語に対する苦手意識や表現に対する自信が無い傾向が強いです。

	項 目	1 年	2 年	3 年
1	学校に行くのが楽しい。	90.5	86.2	86.3
2	今の学級をよりよい学級にしたいと思う。	92.1 -1.0	91.6	91.0
3	学校の授業は楽しい。	86.7	82.0	81.0
4	勉強は大切だ。	96.3	94.0	95.8
5	自分の好きな仕事につけるように勉強したい。	94.1	91.6	92.6
6	良い成績がとれるように勉強したい	92.5	94.6	95.2
7	授業の時間に、いろいろな考え方を発表しあうのは好きだ。	50.9 -5.2	48.5 -2.8	50.8 -1.2
8	授業のはじめに示された目標（めあて・ねらい）を理解し、見通しをもって学習に取り組んでいる。	80.9 -0.6	78.4	88.9
9	数学の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いている。	86.8 -0.6	82.8	85.7
10	数学の問題の解き方がわからない時はあきらめずにいろいろな方法を考える	80.9	67.7	69.3
11	英語の授業で、原稿などを準備することなく、自分の考えや気持ちを英語で伝えることができる。		38.9 -12.8	52.9
12	英語の授業で、自分の考えや気持ちを伝えあう活動の行った後には、伝え合った内容（自分の考えや気持ち）を英語で書く活動をしている。		35.3 -12.4	60.8
13	日常生活の中で、自分の思いや考えを積極的に話をしている。	69.0	67.9 -1.4	70.9
14	今住んでいる地域に貢献できるような大人になりたい。	70.7	59.9	58.8
15	次の日の授業に必要な教科書やノートなどは、前の日に準備している。	92.0	85.0	74.1 -2.4
16	不得意なことや苦手なことでも、自ら進んで取り組もうとしている。	72.6	61.1 -0.9	73.0
18	あいさつ、服装、持ち物などについて学校のきまりを守っている。	98.4	94.0	98.4
19	自分がやらなければいけないことは、やりたくないことでも、きちんとやり抜くことができる。	87.7	78.4	79.9
20	自分の意見や考えた方を相手にわかりやすく伝えることができる。	64.7	61.1	69.8
21	自分の果たすべき役割や分担を考え周囲の人と力をあわせようとしている。	89.3	86.1	89.9
22	朝、起こされなくても自分で起きている。	75.9	78.4	80.4
23	自分にはよいところがあると思う。	64.5 -4.8	66.9 -1.6	78.8

* 下段の数字は足立区との平均差を表しています。

* 12月に追跡アンケートを学校独自で実施いたします。

十三中生の全体の特徴

十三中の生徒は「学びの基礎力」は十分あります。足立区や全国を下回っている項目もありますが、全体としての問題はありません。

学習意欲や学習目標は形成されています（9割以上の生徒が肯定的評価）。授業に対しても前向きに取り組んでいます。自分たちが「がんばっている」との意識も高いです。しかし、学習したことを深めたり、解き方を工夫したりする意欲や力には課題があり、表現力も今後育成しなければならないことが読み取れます。

国数英の学力調査の結果には課題があります。全学年とも「学力向上」が大きな目標であり、現在行っている各教科のコンテストや補充学習、新聞を活用した読解力向上の取組を今後も続けていく必要があると痛感しています。

「学びの基礎力」を更に高め、学習に対する意欲を引き出していきたいです。

各教科の好き嫌いについては、5教科（国数社理英）50～70%、実技教科（音美体技家）60～80%が肯定的評価でした。数学、英語は上位層と基礎学力定着が必要な層とでの差が大きく、理解度についても同様の傾向が見られます。「理解している」と感じている生徒の割合は「好き嫌い」より多い傾向にあります。授業で学習した時は「わかった」と理解度が高まるのですが、持続していません。家庭学習の継続と充実がキーポイントと考えます。

1年生の傾向

調査をしたのが4月であることから、小学校での生活が結果に大きく反映しています。

発展的なことや表現活動も十分経験してきたことがわかる結果になっています。「学級で自分が頼られている」が、50%以下になっており、2年生と同様の傾向が見られます。

学習面では、「算数・数学」「英語」に対する苦手意識が強く、理解度にも課題があります。

「学びの基礎力」「学習面」ともにやや平均的であり、中学校生活のスタートとしては、大きな課題はないように見受けられます。

中学校生活に慣れ、大きな行事を経験し、より「中学生らしく」成長してくれることを期待します。

2年生の傾向

入学式をはじめ、大きな行事を一つも体験せずに進級した2年生は、「学級で自分が頼られている」「学級の人から感謝されたことがある」が、50%以下になっており、3年生に比べやや低い傾向があります（3年生は2年生より+10%）。「わからないこと」や「苦手なこと」に対するチャレンジ精神もやや消極的な傾向です。

入学してから初めての「運動会」を経験し、仲間と切磋琢磨できたことは、今後より良い成長を期待できます。

学習面での課題もありますが、昨年度と比較し改善されています。

今後、「先輩」としての成長が楽しみな学年です。

3年生の傾向

十三中の行事全てを唯一経験している3年生は、学級への帰属意識やクラスのために貢献したいと思う気持ちだが、1、2年生に比べ若干高い傾向にあります。しかし、発展的に考えたり、別の解き方を考えることはあまり得意ではありません。

学習面での課題はありますが、1年次より、2年次、そして今年度と着実に改善されています。

十三中のリーダーとしてたくましく成長してくれることを期待したいです。